

## 第17回垂水カンパチ祭 ゴールデンウィーク終盤のにぎわい



1 / 「鹿児島フィッシュガール」のカンパチ解体ショー 2 / カンパチのつかみ捕り 3 / カンパチの一本釣り

5月6日（土）7（日）、第17回垂水カンパチ祭（主催：垂水市漁業協同組合）が開催され、二日間で約1万人が来場しました。このイベントは垂水ブランドカンパチ「海の桜勘」のPRと、地域漁業の活性化やブルーツーリズムの普及啓発等を目的に開催されています。当日は地元垂水高校の女子生徒4名で結成される「鹿児島フィッシュガール」が大型カンパチの解体ショーを行い、大きなカンパチを解体する姿に見物の人が集まりました。また、カンパチのつかみ捕り、第4回ドンブリグランプリやカンパチの一本釣り、エサやり体験もあり、ゴールデンウィーク終盤に大勢の人でにぎわっていました。

4月29日（土）、2017みどりの感謝祭（主催：鹿児島県）が始良市県民の森で開催され、本市より猿ヶ城緑の少年団が参加しました。このイベントは、森林の環境保全への意識向上を目的に開催されています。猿ヶ城緑の少年団は、水之上小学校5・6年生24名の児童で組織されており、学校内での緑化活動をはじめ、コスモス植栽、千本イチョウ園での清掃活動、地元水之上地区イベントでの緑の募金活動など地域の緑を守るため頑張っています。



水之上地区の緑を守る  
猿ヶ城緑の少年団

## 第28回本城川かわ祭り鯉のつかみ取り大会 鯉を追いかける元気な子どもたち



1 / 鯉のつかみ取り 2 / 会場の様子 3 / 鯉のぼり

5月5日（金）こどもの日を祝し、下本城橋河川敷にて第28回本城川かわ祭り（主催：本城川好会）が開催され、約500人が来場しました。同会は、市内外の人々に誇れる美しい自然を目指し、河川敷の桜の管理や草払い等の美化活動を行うボランティア団体で、このイベントは地元の子どもたちに自然との触れ合いや故郷の良き思い出を残すことを目的に行われています。当日は天候にも恵まれ、会場には金魚すくいやわた菓子無料配布もあり、たくさんの親子連れが訪れました。メインイベントの鯉のつかみ取りでは、子どもたちが水を浴びながら、鯉の勢いに負けじと、元気良く鯉を追いかけていました。

4月10日（月）、松ヶ崎小学校児童による「お手紙大作戦」が道の駅たるみずにて行われました。お手紙大作戦は、春の全国交通安全運動に合わせて行われたもので、児童たちがドライバーに対し、交通安全を願う手紙を渡すことで、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの周知・向上を図り、子どもや高齢者を交通災害から守ることを目的としています。また、子どもたちが自分で手紙を書くことで、登下校中や日頃の交通安全を考える機会となっています。



春の交通安全  
キャンペーン